

大学生・大学院生児童虐待MDT（多分野横断チーム）研修

1 目的

児童虐待に関する基本的な知見や、日本における児童虐待の現状と対応のあり方について学ぶ。併せて、多職種間の連携や協働の必要性とそのあり方について理解を深める。

2 テーマ 「児童虐待の定義」「児童虐待の現状」「被虐待児の理解と援助」「発生の予防」

3 対象 子どもの虐待防止等に関心のある大学生（大学3年生以上）・大学院生

4 期間 平成20年7月29日（火）～7月30日（水）

5 内容

	時間	科目	講師	内容
1 日 目 午前	10:00	開 会		
	10:20	【講義1】 児童虐待とは	学識者	児童虐待の定義や、日本における現状と対応システムについての概要を学ぶ。併せて、多分野横断的連携の意義とあり方について学ぶ。
	12:00			
1 日 目 午後	13:00	【講義2】 児童虐待と生命の危機	医師	小児救急医療現場に搬送される児童虐待ケースには、生命の危機に直結した深刻な事例が少ない。救急医療現場からみた児童虐待の現状について学ぶ。
	14:30			
	14:45	【講義3】 虐待を受けた子どもの理解と援助	心理臨床家	児童虐待の心身の発達に及ぼす影響とその回復のために必要な援助のあり方について学ぶ。
	16:15			
	16:30	【グループ討議1】 課題の共有	参加者	各グループに分かれ、自己紹介と個々の持つ児童虐待防止等への興味、関心、問題意識等を共有する。
	18:00			
	18:15	【交流会】		
	19:30			
2 日 目 午前	9:30	【事例検討】	学識者、心理臨床家	提示された事例について、グループに分かれ、その理解と対応について検討する。検討された内容を全体会で発表し、更なる検討を行う。
	12:00			
2 日 目 午後	13:00	【グループ討議2】 発生予防のための啓発活動について	参加者	児童虐待防止や子どもを大切に育む社会の実現のための啓発活動について、グループに分かれてアイデアを出し合い、全体会にて発表する。
	15:00			
	15:30	終 了		